



第 2240 回例会

2025 年 12 月 8 日(月)



12:30～ 海南商工会議所 4F

IDM 報告



1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 30 名

出席義務規定適用免除会員 1 名

出席率 76.92% 前回修正出席率 97.44%

4. 会長スピーチ 会長 大江 久夫 君

みなさんこんにちは。先週の年次総会を無事終えることが出来ました。次年度の会長初めとする理事・役員の皆様方よろしくお願い致します。本年度も新春例会・家族会など催しものがまだまだ続きますので、理事・役員と共に頑張って行きたいと思っています。



今日の例会は、IDM の報告です。職業奉仕がテーマでした。社会奉仕や国際奉仕等と違って職業奉仕は、奉仕活動が分かりにくい事があり、皆さんがどんな報告して頂けるのか、楽しみです。

12 月は、「疾病予防と治療月間」です。ロータリークラブは、国際ロータリーの主要な活動分野の一つとして「疾病予防と治療」を掲げ、地域に根ざした様々な活動を展開しています。身近な事例としての活動を挙げます。

代表的な国内・地域活動事例

・ポリオ撲滅活動 (ポリオプラス)

これはロータリーの最も有名で長期にわたる活動です。世界中のロータリークラブが協力し、ポリオワクチンの接種推進や啓発活動を通じて、病気の根絶に大きく貢献しています。

・健康診断・がん検診の啓発

疾病の早期発見・早期治療を目的として、地域住民への健康診断や特定のがん検診(乳がん、子宮頸がんなど)の受診を呼びかける啓発キャンペーンを実施して

12月は「疾病予防と治療月間」です

います。

・生活習慣病予防の啓発

食生活の改善、禁煙の推進、適度な運動の推進など、生活習慣病の予防に関する教育・啓蒙活動を地域で開催することができます。

・新型コロナウイルス感染症対策

コロナ禍においては、マスクや消毒液などの衛生用品の寄贈、感染予防に関する正しい知識の普及啓発など、地域社会の健康維持のための支援を行いました。

・公衆衛生教育と設備支援

手洗い設備の設置支援や、トイレ・衛生環境の改善に関する教育など、基本的な公衆衛生の向上に資するプロジェクトも実施されています。

・専門家による講演会

医師や看護師などの専門家を招き、特定の疾患に関する予防法や最新の治療法についての講演会を開催し、地域住民の健康意識向上を図っています。

これらの活動は、地域コミュニティのニーズに合せて計画・実行され、人々の健康的な生活を長期的に支援することを目指しています。

身边に出来る「疾病と治療」の活動を挙げましたが、このような活動が出来るのも、自分自身の健康な体があってことです。皆さんも健康に気をつけましょう。

5. 幹事報告

幹事 田中 淳 君

○12月ロータリー為替レート

1\$ = 156 円

6. 表彰伝達

○米山功労者表彰

中村 俊之 君(第 4 回)



7. IDM 報告

○第1組 発表者 リーダー 谷脇 良樹 君

開催日 11 月 18 日「うたげ」

出席者 花田、山東、魚谷、奥、前田誠、的場、成川、谷脇(8名)



さすがロータリアン、皆さん予習しての参加でした。職業奉仕に答えはない、今回の IDM で集約的に語っている事をとらまえれば、

四つのテスト 運行はこれにてらしてから
 ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
 ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



よいことの
ために
手を取りあおう

事務所 〒 642-0002
 海南省日方 1294 (海南商工会議所 4F)
 TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

自分の仕事が第一と言う意見が多数。

お客様を大事にして利益を生んでそこからロータリーは始まるが多数の意見であったように思います。

近江商人の三方良し。業界や時代を超越してその心は生きている。

それが、職業奉仕の原点かもということが本日のまとめであったと思います。

今回のこの組み合わせは非常に良かった 80 代から 40 代まで世代を超えてロータリーを語り合える時を持つ親密度の向上につながった思いで嬉しかったです。

これからもこのような場をいつまでも持てる事を願いたいです。そこには「増強」がすべて。

○第2組 発表者 リーダー 山畠 弥生 君

開催日 11月 28 日「うたげ」

出席者 上田、岸、楠部、中村、榎原、宇惠、山畠(7名) 欠席 岩井



先ず始めに四つのテストの解釈について少し話し合いテーマに移りました。

① あなたの実践している職業奉仕とは(各人が報告)

中村 ・子ども食堂へ自社製品のお椀やお盆などを寄付し支援している。

・漆器組合の会長としての組合の運営や業界の地位向上、そして各組合員の事業支援や漆器祭りの開催等での業界の認知向上や地域の方々の交流を精力的に行っている。

楠部 ・製造業として最適な商品を提供することで顧客満足度の向上に貢献し、常に顧客志向で適正な価格で最適な商品を提供することを心掛けている。

上田 ・農業を通じて安心安全な生産物を提供することを常に考えている。生産物の販売を通じて適正に利益を確保することは勿論だが、近隣の方々には格安な価格で提供することで喜んでもらえることも実践している。RCの例会への 100%出席や国際大会への参加等RC活動に積極的に関わっている。

榎原 ・RCに入会前から国際交流に参加し世界平和に貢献することや交流を通じて青少年の育成にも尽力してきた。

・現在も地域イベントへ積極的に関わり、子ども食堂の支援等を通じて地域の発展に貢献し精力的に交流を続けている。

・今の仕事を通じて障害者対象のカヌー教室の開催や、事業として収益を上げることは勿論だが、金銭に余裕の無いヨットマンには割引でヨット修理等を請負うこともあり喜んでもらっている。

・副業としてキッチンカーで地域イベントに参加し、クレープを販売しているが、通常は 500 円程度の商品を、子ども食堂では 200 円程度で販売して喜んでもらっている。奉仕は好きだが、ついに利己より利他になってしまって行詰ることもあるので、今後は、少し利己より利他の考えも念頭にしつかり収益を上げることで効果的に裾野が広く長期的な奉仕活動も実践していくのではと考えている。

岸 ・会社の方針でもある「自利より利他」を常に考え

て、顧客の立場になって事業活動を実践している。

・何よりも仕事が好きということが大事だと考えている。

・職能を通じて税務申告の相談等、顧客の立場になって適正なアドバイスを実施している。又、常に職員が幸せになるように業務の管理や運営を実践している。

宇惠 ・業種は清涼飲料水の保管の物流センターの賃貸業となるので、地震や浸水など災害が発生した際には、一時的な物資保管場所の提供や軽作業スペースの確保等が可能であり、将来的には地域の行政や社会福祉協議会などと協定を結ぶことも視野に入れている。

・施設を通じた環境貢献として、LED化やソーラーパネルの導入、緑地帯の設置や省エネセンター化に取り組んでいる。

・働く人への安全に配慮した施設づくりとして、5Sの実践ノウハウの提供、照明の明るさの改善や動線のわかりやすい標識、駐車場やヤードの安全ライン整備や防犯カメラ等のセキュリティ向上、熱中症対策を実施することで、事故を防ぎ人を守る施設提供を行っている。

山畠 ・以前 20 年近く食品衛生指導員として海南市内の飲食店を巡回し衛生指導を行っていたので、その知識を活かし、子ども食堂の衛生管理運営に努めている。

・現在は閉業していますが、以前に飲食業を営んでいた時は、RCメンバーにも長年に渡りご愛顧頂き大変感謝しています。閉店後は、感謝の気持から、コロナで自粛要請があった折に、メンバーが集まる場所が無く気分が沈んでいると感じ、感染対策を万全にソーシャルディスタンスを徹底して、テイクアウトで、お弁当を用意し交流の場を提供致しました。その後、同年代の会員の要望もあり、RCには少なからずとも世代間ギャップが存在する場面もあると考え、少しでも、その緩和になって今後の活動がスムーズに運営出来るようにと閉店して 5 年が過ぎた今も、月に 1 回ではありますか世代間で気兼ねなく集まって交流できる場として店舗を提供しています。

② あなたの考える職業奉仕とは

このテーマは、上記テーマと重複する内容が多く、来年 1 月からは、職業奉仕についての自らの考え方や実践についての卓話もあるので割愛し、フリートークの時間と致しました。

○第3組 発表者 リーダー 上野山 雅也 君

開催日 11月 25 日「うたげ」

出席者 リーダー上野山、副リーダー角谷、上中、土井、総田、楠山、岡、田中祥 (8 名)



隣の席が大変賑やかで、落ち着いて会話ができない状況であり、角谷さんのパソコンの閉じるのを契機に まあ、食事しながら始めましょうかということでお話を始めました。

リーダーの私が、前年度、職業奉仕の委員長であつ

たことより卓話させていただいた社会奉仕との異なる点から始まり、各参加者における経験説を含め熱心に討論を経て、夜は更けていきました。

結論として、定義づけにおいて非常に難解な事柄も多いが、一人一人経営者としての「倫理観」をもち仕事に従事していくことが究極の「職業奉仕」に繋がるのではという結論に達しました。

その後、精鋭のメンバーが残り楠山さんのお店で続きの討論をいたしました。

「フツキー！！」のコールが頭から離れない充実したIDMになりました。

○第4組 発表者 リーダー 中西 秀文 君

開催日 11月29日 「美登利」

出席者 中西、鳥羽、山名、田岡、田中淳、千賀、前田克(7名)



今回のIDMのテーマ ①あなたの実践している職業奉仕とは ②あなたの考える職業奉仕とは でしたが、一言で職業奉仕について説明するのは難解なテーマだと思います。職業というのは、自分に対してですし、奉仕は他人に対してという相反する言葉が職業奉仕だからです。そこで、職業奉仕を職業サービスという面から参加者の皆様にお話して頂きました。自分の仕事の事ですので本当に活発な意見がでました。

山名 まじめに仕事を通じて奉仕をしてきました。

田岡 仕事がら職業奉仕について考えた事がない。

田中淳 土木、インフラ関係の設計で災害対策を考えながら新たな技術を考察して最強な状態の物を作る事など。

千賀 中学生に対して飲食業の職場体験学習を毎年3日間、約20年実施している。接客サービスの体験では意思を言葉で伝えることによりコミュニケーション能力が身につく。人手不足を解消するためにもこれからは食育を通じて青少年の育成が必要である。

前田克 製造業においてユーザーさんが使いやすい製品開発や従業員のレベルUPについて、将来的に人手不足解消の為に、青少年奉仕、青少年育成が必要である。

鳥羽 ドライバーの高齢化による人手不足、対策として求人を出してインドネシアから来てもらっている。5年ぐらい前からスマホで職場を紹介している。インドネシアの人々はまじめで一生懸命働いてくれるので助かっているという意見があった。

最後は、私は歯科医院の職場の話をさせて頂きました。以上のお話はごく一部ですが、皆さん自分の仕事に関しては活発にお話することができますし、これもすべて職業奉仕を実践していることだと思います。

私も最初は、職業奉仕について毎日患者さんの治療を通じて実践していることなので取り立てて考える必要がないと思っていました。ただ、なぜロータリークラブでは、職業奉仕は看板、ロータリーの樹の幹の部分であると良く言われていますし、職業宣言8つの項目、4つのテスト、ロータリーの綱領、4つの項目についても

自分に照らし合わせて、ロータリアンとして成長に活かして下さいと言われるのでしょうか。

それは、職業奉仕の理念とはどういうものかと言いますとロータリアンが真のロータリアンになる為の自己研鑽というロータリー哲学であり、人間をみがき、レベルアップし、真の成功、真の幸福、そして事業の真の成功を目指すものであります。ここで得られた能力、才能、成功、体験、成功の糧を、自分を育てて成功に導いてもらった社会、世の中に感謝の念をもってお返し、社会幸福、人々の幸福の為に役立てんとする行為が、職業奉仕の心だからです。そのために、ロータリアンとしての成長を促す方法論を自分で見つけ出す為の手段を教えてくれるのが、職業宣言であり、四つのテスト、ロータリーの綱領だということです。やっと最近、職業奉仕の理念である職業人としての奉仕の心と職業奉仕の本質が少しですが理解できる様になった気がします。

○第5組 発表者 副リーダー 才力 昭浩 君

開催日 11月25日 「信濃路海南店」

出席者 桑添、小椋、大江、倉橋、新垣、才力、寺下



(7名) 重光(欠)

資料 職業奉仕の手引き

テーマ

①あなたの実践している職業奉仕とは

日々、それぞれの職業(仕事)で社会や地域の要請に応え、専門技術を活かし、誠実に業務を営んでいる。(全員)

例えば、医師は、地域医療の担い手として、地域の患者さんを日常的に治療し、社会貢献している(倉橋、新垣)。また、製造業は、環境問題、地域社会の課題に真摯に取り組み SDGs宣言をするなど社会の要請に応えている(桑添)。更に建築、土木においても環境への配慮、災害時の備えなどに取り組んでいるほか、万が一、災害が起こった際の復興では、最も必要で重要な職業である。(大江、才力)また、地域の環境問題において清掃サービス業は、ゴミ対策、美化に大きく貢献している。(小椋)

一方、ロータリー活動においても、それぞれの職業(仕事)で、クラブ奉仕、社会奉仕や国際奉仕、青少年奉仕の関係分野で役立ててることがあれば、実践している。例えば、以前、国際奉仕でフィリピンからリクエストがあった中古パソコン約100台を送ったが、ITの仕事を活かして対応することができた。(寺下)

また、ふるさと海南まつりの出店は、メンバーが一緒に無償で働き、汗を流しながら、市民にロータリーの活動をPRし、安価で食品を提供して、得た収益金を財団や米山に寄付する。これも職業奉仕ではないでしょうか。

以上の様に職業奉仕は、それぞれの会員が社会で必要な事を業として、多くの人の役に立っている。それが仕事に誇りを持ち、信頼と公正な対価を得て、社会の役割を担っている。

②あなたの考える職業奉仕とは

「奉仕」という言葉に対する疑問として、無償のボラン

ティアをイメージしてしまう。しかし、職業は報酬を得て行うもので、職業奉仕は職業を通じて社会に貢献するものだと考える。

ロータリーの職業奉仕の定義は「事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」とされている。

現在社会では、詐欺や偽装など、巧みに金品を騙し取る事件が多発している。ロータリアンはこうした世の中を正し、さらに、「四つのテスト」に照らし、公正で信頼できる仕事で社会に貢献し、人々に役立つ仕事をしなければならないと考える。

○研修・情報規定委員長 魚谷 幸司 君

今回のIDMは、①あなたの実践している職業奉仕とは ②あなたの考える職業奉仕とは をテーマに話し合っていました。中身の濃い内容でとても有意義なIDMになったと思います。みなさん、有難うございました。



8.閉会点鐘

次回例会 第2241回 12月15日(月)
12:30~ 海南商工会議所4F
新会員(成川君、的場君)卓話



ニコニコ・BOX

谷脇 良樹 君 IDM発表します。

Rotary NEWS

平和は測れるのか？

ロータリー平和フェローが共同設立した
研究団体がその答えを模索



コロンビア出身の20代、コリアナ・アンドレア・ダビッド・イダルゴさんの人生は、政府軍と反政府勢力の長年にわたる戦闘、さらに麻薬カルテルや犯罪組織による暴力に翻弄されてきました。

2016年に和平合意が結ばれ、状況はかろうじて落ち着いているものの、経済平和研究所の「2025年世界平和指数」によると、コロンビアはいまだ世界で最も平和から遠い国の一つ。この指数は、紛争による死者数、収監率、軍事費、犯罪に対する国民の意識などを基に算出されます。しかし、コリアナさんや彼女の住むラス・

クルセス村の人たちに話を聞くと、もっと身近な「平和のものさし」があることに気づきます。

村人たちには、平和が戻りつつあることを示す小さな変化を感じています。たとえば、数日間続く伝統的な葬儀を安全に行えること、道路がきちんと整備されていること、野良犬に対する人びとの扱いが優しくなったこと、急いで逃げるためにブーツを履いたまま寝る必要がなくなったこと。

こうした日常の習慣や行動は、犯罪率や武器輸入量といった統計よりも、その地域の平和度をよく表しているかもしれない。この考え方をもとに、非営利団体「Everyday Peace Indicators (EPI)」は、平和や和解、統治といった測りにくい概念をより正確に捉えるために、こうした「日常のデータ」を集めています。地域レベルでの平和の全体像を把握することで、権力者がより良い判断を下せるようになると、同団体は考えています。

「私たちは、地域の人びとの優先ニーズを政策決定者に伝える役割を担える」と話すのは、EPIの創設者・事務局長であり、ブランダイス大学の准教授であるパミナ・ファーショウさんです。彼女は2005年にロータリー平和フェローシップを終えた後、ダラム大学のロジャー・マクギンティ教授とともにEPIの構想を練りました。

EPIの活動は、平和構築に関する権限や意思決定を、紛争の影響を最も受けている地域社会に戻すことを目指す「現場に根ざした説明責任」というムーブメントの一部を成しています。米国平和研究所の元専門家カール・スタウファー氏は、「和平合意への署名を実現させても、社会のさまざまなレベルで人間関係を変えなければ、その合意は長続きしない」と述べています。

平和の条件は外部の専門家が決めるのではなく、紛争地域の人びとに『あなたにとって平和とは？』と尋ねるべきではないか。

過去15年間、時にはほかのロータリー平和フェローと協力しながら、彼女はこの「日常の平和」というアプローチをコロンビア、スリランカ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、南アフリカ、ウガンダ、南スудан、ジンバブエ、アフガニスタン等での調査に適用してきました。EPIが2018年に正式に非営利団体として設立されて以来、米国カリフォルニア州でも公共安全改革に取り組んでいます。集めた指標を見れば、「平和は『暴力が終わった状態』だけでなく、もっと多面的なものだとわかる」とファーショウさんは言います。

EPIの活動の中でも特に重要なのがコロンビアでの取り組みです。EPIで同国を担当するディレクター、エドゥアルド・ゴンザレスさんは、政策面においてEPIの調査結果が「平和に対する理解を一変させた」と語ります。最近では、紛争被害者への補償を



EPIチーム(2023年コロンビア)

検討する判事に提出した報告書で、数多くのコミュニティから収集した数千もの指標を基に、補償、真実、正義の細かな定義を示しました。